

# めぐみイエス・キリスト教会

2018年12月2日(日)第一主日アドベント礼拝  
週報「通算第434号」



## 2018年標題聖句

### 使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年12月2日(第一アドベント礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時

第二礼拝 午後6時～7時

司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

### ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌75 「神の御子は」 p. 102

【交読文】 No.23 詩篇第66篇 p. 897

【賛美Ⅱ】 新聖歌82 「牧人羊を」 p. 112

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.1 「ビジョン」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書16章29節～33節(新約p. 196)

【祈 禱】

【説 教】 《勇敢でありなさい》

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌77 「きよしこの夜」 p105

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所【ヨハネの福音書16章29節～33節】

16:29 弟子たちは言った。「ああ、今あなたははっきりとお話しになって、何一つたとえ話はなさいません。」

16:30 いま私たちは、あなたがいつさいのことをご存じで、だれもあなたにお尋ねする必要がないことがわかりました。これで、私たちはあなたが神から来られたことを信じます。」

16:31 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは今、信じているのですか。」

16:32 見なさい。あなたがたが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、私をひとり残す時が来ます。いや、すでに来ています。しかし、私はひとりではありません。父が私と一緒におられるからです。

16:33 私がこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたが私にあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。私はすでに世に勝ったのです。」

### ●ポイント1 「私にあって平安を持つため」とは？

※ヨハネの福音書14章27節「私の平安」 (新約p.192下段)

14:27 「私は、あなたがたに平安を残します。私は、あなたがたに私の平安を与えます。私があなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。」

### ●ポイント2 ヨシュアの場合

※ヨシュア記1章1節～9節「ヨシュアへの神の言葉」 (旧約p.338上段)

### ●ポイント3 「勇敢でありなさい」

※使徒の働き4章13節「ユダヤ最高議会において」 (新約p.214上段)

4:13 彼らはペテロとヨハネとの大胆さを見、またふたりが無学な、普通の人であるのを知って驚いたが、ふたりがイエスと共にいたのだ、ということがわかって来た。

※第二テモテの手紙1章7節「パウロの勧めから」 (新約p.379上段)

1:7 神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。

※マタイの福音書28章18節後半～20節「主の約束」 (新約p.57下段)

28:18 「私には天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

28:19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、

28:20 また、私があなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。私は、世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいます。」

## ◎先週のメッセージの概要【父について】

《さて、イエス様は、「これらのことを、私はあなたがたにたとえて話しました。もはやたとえでは話さないで、父についてははっきりと告げる時が来ます。」と言われ、「あなたがたが私を愛し、また、私を神から出て来た者と信じたので、父ご自身があなたがたを愛しておられるからです。私は父から出て、世に来ました。もう一度、私は世を去って父のみもとに行きます。」と、ご自身がイスラエルの信じる父なる神から来たことを、宣言されたのです。これは、ご自身こそ神の御子であると言う意味です。この啓示は三回目になります。

一回目は、ユダヤ人たちがイエス様に質問した時になされました。

「あなたは、自分自身を誰だと言うのですか。」

「私に栄光を与える方は、私の父です。この方のことを、あなたがたは『私たちの神である。』と言っています。アブラハムは、私の日を見ることを思って大いに喜びました。彼はそれを見て、喜んだのです。まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、私はいるのです。」

そして二回目は、弟子たちに対してであり、ピリポが質問した時でした。

「主よ。私たちに父を見せて下さい。そうすれば満足します。」

「ピリポ。こんなに長い間あなたがたと一緒にいるのに、あなたは私を知らなかったのですか。私を見た者は、父を見たのです。」

しかし、この時でさえ弟子たちの霊の目は開かれてはいなかったのです。

イエス様は、私たちと同じ、まことの人間としてこの世に来て下さいました。しかし、人間であるのに、どうして神様なののでしょうか。イエス様は多くの奇跡を行なわれました。そして罪を犯されませんでした。全く私たちと変わらない人間でした。と言うことは、疲れる、お腹は減る、喉は渇く、トイレに行く、そして笑い泣かれるのです。しかし私たちは、聖書によって、聖霊の導きによって、霊で知っています。まことの神様は、このお方、ただ一人であることを。

私たちはこのお方を信じ、再び来られる日を待ち望みます。このお方こそが真の神様であられます。この方の御名を人々に証し、伝えて行くのです。》

## ◎お知らせ

※次回の礼拝は、12月9日(日)です。通常通り、第一礼拝は午前10時から、そして第二礼拝は午後6時から行ないます。次回の祈禱会は、12月5日(水)午後6時15分からです。なお12月30日(日)の礼拝はお休みします。